

地球温暖化対策報告書（その1）

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあっては名称 及び代表者の氏名)	住友商事株式会社 代表取締役 兵頭 誠之
事業者番号	A 1 0 1 6

2 報告する事業所等の全体の状況（平成30年度）

条例第8条の23第1項 報告事業所数	14 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	3,536 kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	7 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	32 kl

3 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1
----------	---

4 事業者としての取組

取組方針	当ビル入居テナント及び、管理会社と連携し、以下3点を重視して、地球温暖化対策に取り組む。①運用・保守方法の最適化 ②中長期的な設備改修計画の策定・実施 ③入居テナントと一体的に取り組む省エネ施策の立案・実施			
組織体制の 整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A110	外部専門家への相談依頼の実施
	A102	温暖化対策推進担当の配置	A113	推進担当者の知識向上・内部還元
	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	A116	所内会議・研修会等で報告

5 特記事項

メーター計量の他、当初より作成した「エネルギー按分ツール」を使用し、テナントにエネルギー使用量の通知を継続して実施。

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ミツワ小川町ビル									
事業所番号	A	1	0	1	6	-	0	0	0	1
事業所等の所在地	〒101-0101 区市町村名 東京都千代田区									
	町名番地以下 神田小川町3-7-1									
事業所等の延床面積	4,756.82		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成30年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	176	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	334	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	336	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	70.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他 ()		☐		0.0					
	その他 ()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	684,868.0	9.97	6,828.1	0.489	334.9	
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0	
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0	
合 計							⑬	6,828.1	⑬	334.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,836.0			0.251	1.0	
	公共下水道		☐	m ³	4,008.0			0.439	1.8	
合 計									⑮	2.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C802	階段照明の管理手法の検討・実施
				C809	冷風と温風の混合損失の防止
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友商事美土代ビル									
事業所番号	A	1	0	1	6	—	0	0	0	4
事業所等の所在地	〒101—0053 区市町村名 東京都千代田区									
町名番地以下	神田美土代町1									
事業所等の延床面積	20,132.77		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成30年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	692	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,317	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	7	t
	総計(④=②+③)	④	1,324	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	65.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧)×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	9,577.6	45.00	431.0	0.014	21.5
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	2,650,464.0	9.97	26,425.1	0.489	1,296.1
		夜間(22時～翌18時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	0.489	⑫
合 計						⑬ 26,856.1		⑭ 1,317.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	5,001.0			0.251	1.3
	公共下水道	☐	m ³	13,938.0			0.439	6.1
合 計								⑮ 7.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E135	エレベータのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

電力:省エネのため間引きを行った。
都ガス,水道:2月にカフェテリアの営業が終了した為。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	日本弘道会ビル									
事業所番号	A	1	0	1	6	-	0	0	0	7
事業所等の所在地	〒	1	0	1	-	0	0	6	5	区市町村名 東京都千代田区
	町名番地 以下	西神田3-1-6								
事業所等の延床面積	3,880.99		m ²		事業所等の実績年度の エネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類 における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容 からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成30年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	123	kl
二酸化炭素 排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	234	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	236	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	60.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	480,570.5	9.97	4,791.3	0.489	235.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☒	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	4,791.3	⑭	235.0
そ の 他	水道及び工業用水道		☒	m ³	3,220.2			0.251	0.8	
	公共下水道		☒	m ³	3,220.2			0.439	1.4	
合 計									⑮	2.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C802	階段照明の管理手法の検討・実施
				C809	冷風と温風の混合損失の防止
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	神田アベビル									
事業所番号	A	1	0	1	6	—	0	0	0	9
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	5	3	区市町村名 東京都千代田区
事業所等の延床面積	2,189.87		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☒ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成30年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	49	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	95	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	95	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	43.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0		
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0		
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	194,286.6	9.97	1,937.0	0.489	95.0		
		夜間(22時～翌18時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☒	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑪	1,937.0		⑬	95.0
そ の 他	水道及び工業用水道		☒	m ³	1,847.6				0.251		0.5
	公共下水道		☒	m ³	0.0				0.439		0.0
合 計										⑭	0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネ ー ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設 備 保 守 対 策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設 備 導 入 対 策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

テナント使用量増が主因。

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	CN-1BLDG.									
事業所番号	A	1	0	1	6	-	0	0	1	1
事業所等の所在地	〒	1	3	6	-	0	0	4	2	区市町村名 東京都江東区
	町名番地以下	木場5-5-2								
事業所等の延床面積	6,918.66		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成30年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	263	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	501	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	502	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	72.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	1,025,870.0	9.97	10,227.9	0.489	501.7
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 10,227.9		⑮ 501.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,985.0			0.251	1.3
	公共下水道	☐	m ³	0.0			0.439	0.0
合 計								⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
				A503	ビルへの温暖化対策提案の実施
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー 対策	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
				C815	看板照明点灯時間の季節別管理
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

一部テナントにおいて事業拡張に伴う従業員増加が確認されており、これに伴って水道使用量が増加したものと推察される。

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友商事錦町ビル									
事業所番号	A	1	0	1	6	-	0	0	1	6
事業所等の所在地	〒101-0101 区市町村名 東京都千代田区									
町名番地以下	神田錦町1-6									
事業所等の延床面積	9,041.33		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成30年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	261	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	497	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	500	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	54.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	1,018,387.0	9.97	10,153.3	0.489	498.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計							⑬ 10,153.3	⑭	498.0
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	5,099.0			0.251	1.3
	公共下水道		☐	m ³	5,099.0			0.439	2.2
合 計								⑮	3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
		E114	高効率パッケージの採用		

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

テナント入居率変動に伴い使用量が増えたもの。

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友商事八重洲ビル									
事業所番号	A	1	0	1	6	—	0	0	1	7
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	3	1	区市町村名 東京都中央区
事業所等の延床面積	9,726.41		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類 における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当	
前年度の報告内容 からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成30年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	264	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	514	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
総計(④=②+③)	④	517	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	52.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計 の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及び 熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	1,051,179.0	9.76	10,259.5	0.489	514.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 10,259.5		⑭ 514.0
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,527.0			0.251	1.1
	公共下水道	☐	m ³	4,527.0			0.439	2.0
合 計								⑮ 3.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A405	ビル全体の推進体制の整備
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー 対策	運 用 対 策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C808	温湿度の適正管理
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人体感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友商事神保町ビル									
事業所番号	A	1	0	1	6	-	0	0	1	8
事業所等の所在地	〒	1	0	1	-	0	0	5	1	区市町村名 東京都千代田区
事業所等の延床面積	6,846.03		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成30年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	483	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	919	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	922	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	134.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	1,880,639.0	9.97	18,750.0	0.489	919.6
		夜間(22時～翌18時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh ^⑫	0.0	9.76 ^⑪	0.0	0.489 ^⑬	0.0
合 計							⑭ 18,750.0		⑮ 919.6
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	5,797.0			0.251	1.5
	公共下水道		☐	m ³	5,797.0			0.439	2.5
合 計									⑯ 4.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E114	高効率パッケージの採用	E125	高輝度誘導灯の導入
				E133	節水器具の採用
				E134	駐車場CO等濃度制御の導入

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	船堀データセンター									
事業所番号	A	1	0	1	6	—	0	0	1	9
事業所等の所在地	〒134—0091 区市町村名 東京都江戸川区									
	町名番地 船堀3-5-14 以下									
事業所等の延床面積	66.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☒ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	5	0	0	9	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成30年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	9	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	18	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	18	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	272.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	18,386.0	9.97	183.3	0.489	9.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	20,018.0	9.28	185.8	0.489	9.8
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				⑫	0.0	⑪	0.0	⑬
合 計						⑭	369.1	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	0.0			0.251	0.0
	公共下水道	☐	m ³	0.0			0.439	0.0
合 計								⑯
								0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

netXDC第2センターより事業所名変更

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新宿サミットクラブ									
事業所番号	A	1	0	1	6	—	0	0	2	0
事業所等の所在地	〒163—1037 区市町村名 東京都新宿区									
町名番地	西新宿3-7-1 新宿パークタワーN棟37F									
事業所等の延床面積	912.33		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☒ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☒ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	7	6	2	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成30年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	47	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	91	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	93	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	99.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧×⑨×44/12)
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(冷水)	☐	MJ	155.0	1.36	0.2	0.060	0.0
	その他(産業用以外の蒸気)	☐	MJ	102.0	1.36	0.1	0.060	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	186,369.0	9.97	1,858.1	0.489	91.1
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	⑪	0.489	⑬
合 計						⑭	1,858.4	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,181.0			0.251	0.8
	公共下水道	☐	m ³	3,181.0			0.439	1.4
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策			C719	屋内駐車場換気の不要時間の停止
	設備保守対策				
	設備導入対策			E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友商事グローバル人材開発センター									
事業所番号	A	1	0	1	6	-	0	0	2	1
事業所等の所在地	〒	1	0	4	-	0	0	6	1	区市町村名 東京都中央区
	町名番地 以下	銀座7-17-16								
事業所等の延床面積	4,911.21		m ²		事業所等の実績年度の エネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類 における細分類番号	5	6	0	0	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当		
前年度の報告内容 からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成30年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	132	kl
二酸化炭素 排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	252	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	252	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	51.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	515,732.0	9.97	5,141.8	0.489	252.2
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計							⑬ 5,141.8	⑭	252.2
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,701.7			0.251	0.7
	公共下水道		☐	m ³	0.0			0.439	0.0
合 計								⑮	0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A405	ビル全体の推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
		E114	高効率パッケージの採用		
		E123	トップランナー機器の採用		

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

水道使用料 22%up
 利用者:前年度比38%up 宿泊者10%up の影響。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	麹町三葉ビル									
事業所番号	A	1	0	1	6	—	0	0	2	4
事業所等の所在地	〒	1	0	2	—	0	0	8	4	区市町村名 東京都千代田区
事業所等の延床面積	8,579.77		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☒ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成30年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	428	kl
二酸化炭素排出量	②	832	t
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	③	1	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	④	833	t
総計(④=②+③)	⑤	96.9	kg-CO ₂ /m ²
二酸化炭素排出原単位	⑥		
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑥=②×1000/事業所等の延床面積)	⑦		

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	7,140.7	45.00	321.3	0.014	16.0
	その他(冷水)	☐ MJ	0.0	1.36	0.0	0.060	0.0
	その他(温水)	☐ MJ	0.0	1.36	0.0	0.060	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,670,445.0	9.76	16,303.5	0.489	816.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			⑪ kWh	0.0	9.76	⑫ 0.0	⑬ 0.0
合 計					⑭ 16,624.9		⑮ 832.9
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	6,390.0			0.251	1.6
	公共下水道	☐ m ³	0.0			0.439	0.0
合 計							⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C808	温湿度の適正管理
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C812	自動販売機の不要時の停止
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
		E114	高効率パッケージの採用	E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

テナント在館時間増加に伴い使用量が増えたもの。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友商事京橋ビル									
事業所番号	A	1	0	1	6	-	0	0	2	5
事業所等の所在地	〒	1	0	4	-	0	0	3	1	区市町村名 東京都中央区
事業所等の延床面積	11,177.55		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☒ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成30年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	301	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	573	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	577	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	51.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	1,172,054.0	9.97	11,685.4	0.489	573.1
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 11,685.4		⑭ 573.1
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	5,913.0			0.251	1.5
	公共下水道	☐	m ³	5,913.0			0.439	2.6
合 計								⑮ 4.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A405	ビル全体の推進体制の整備
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー 対策	運用対策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C808	温湿度の適正管理
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用入感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	第2佐野ビル									
事業所番号	A	1	0	1	6	—	0	0	2	6
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	5	4	区市町村名 東京都千代田区
町名番地以下	神田錦町2-2-16									
事業所等の延床面積	221.81		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成30年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	2	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	4	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
総計(④=②+③)	④	4	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	18.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他(原油(コンデンセートを除く))	☐	L	0.0	38.20	0.0	0.019	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	10,177.0	9.76	99.3	0.489	5.0
規則第5条の17第3項の場合のみ※2				⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑬	99.3	⑭
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	20.0			0.251	0.0
	公共下水道	☐	m ³	0.0			0.439	0.0
合 計								⑮

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策				
設備保守対策					
設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

2018年8月をもって取り壊し。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	神田スクエアフロント									
事業所番号	A	1	0	1	6	—	0	0	3	4
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	5	4	区市町村名 東京都千代田区
	町名番地以下	神田錦町1-4-3								
事業所等の延床面積	7,341.66		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成30年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	162	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	315	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑭)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	317	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	42.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	644,192.0	9.76	6,287.3	0.489	315.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	6,287.3	⑭	315.0
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,500.0			0.251	0.9	
	公共下水道		☐	m ³	3,500.0			0.439	1.5	
合 計									⑮	2.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C127	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E125	高輝度誘導灯の導入
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	麴町PREX									
事業所番号	A	1	0	1	6	-	0	0	3	5
事業所等の所在地	〒	1	0	2	-	0	0	8	3	区市町村名 東京都千代田区
事業所等の延床面積	2,999.24		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成30年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	9	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	17	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
総計(④=②+③)	④	17	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	5.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	36,521.0	9.97	364.1	0.489	17.9	
		夜間(22時～翌18時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	364.1	⑭	17.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	202.0			0.251	0.1	
	公共下水道		☐	m ³	0.0			0.439	0.0	
合 計									⑮	0.1

※¹ 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※² $\text{⑪}=(\text{都が指定する原単位}\times\text{延床面積}\times\text{事業所等の総稼働時間})/1,000$

$\text{⑫}=(\text{⑪}/\text{電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)})\text{の係数}\times 1,000$ $\text{⑬}=(\text{⑫}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A405	ビル全体の推進体制の整備
				A503	ビルへの温暖化対策提案の実施
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C123	温湿度の適正管理
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人体感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

2018年8月をもって売却。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	サン・アンド・サンビルディング									
事業所番号	A	1	0	1	6	-	0	0	3	6
事業所等の所在地	〒135-0016 区市町村名 東京都江東区									
町名番地以下	東陽7-2-18									
事業所等の延床面積	17,495.81			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成30年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	155	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	305	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑭)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	306	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	17.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧)×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	330,259.0	9.97	3,292.7	0.489	161.5
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	293,833.0	9.28	2,726.8	0.489	143.7
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☒	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	0.489	⑫
合 計						⑬ 6,019.5		⑭ 305.2
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,511.0			0.251	1.1
	公共下水道	☐	m ³	1,607.0			0.439	0.7
合 計								⑮ 1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
		A501	ビル所有者の対策や要請に協力		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定		
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理		
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

2017年8月末で全テナントが退去し、全3棟中A・B棟は改修、B棟は建替を実施中。(2020年7月終了予定2021.12月テナント入居予定)

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ダヴィンチ小川町									
事業所番号	A	1	0	1	6	—	0	0	3	7
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	5	4	区市町村名 東京都千代田区
	町名番地以下	神田錦町2-4								
事業所等の延床面積	486.24		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☒ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成30年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	7	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	15	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	15	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	30.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	30,727.0	9.97	306.3	0.489	15.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計							⑬ 306.3		⑭ 15.0
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	0.0			0.251	0.0
	公共下水道		☐	m ³	0.0			0.439	0.0
合 計									⑮ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A405	ビル全体の推進体制の整備
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C109	空室・不在時等の空調停止	C808	温湿度の適正管理
		C801	共用部照明のフロアごとの管理		
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定		
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理		
		C805	中央熱源機器等の季節設定実施		
	設備保守対策				
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E130	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	紀尾井町PREX									
事業所番号	A	1	0	1	6	-				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	-	0	0	8	3	区市町村名 東京都千代田区
	町名番地以下	麹町4-5-21								
事業所等の延床面積	3,508.91		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☐ 1年度分 ☒ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成30年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	2	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	5	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	5	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	1.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	10,724.0	9.76	104.7	0.489	5.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬	104.7	⑭	5.2
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	32.0			0.251	0.0
	公共下水道		☐	m ³	32.0			0.439	0.0
合 計								⑮	0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A405	ビル全体の推進体制の整備
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
				A503	ビルへの温暖化対策提案の実施
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C123	温湿度の適正管理
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

2019年2月稼働開始

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	トリトンすくすくスクエア									
事業所番号	A	1	0	1	6	-				
事業所等の所在地	〒	1	0	4	-	0	0	5	3	区市町村名 東京都中央区
	町名番地以下	晴海1-8-2 晴海トリトン3F-15a								
事業所等の延床面積	0.20		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☐ 1年度分 ☒ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☒ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成30年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	3	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	7	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	7	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	35,000.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=(⑧/1,000)×⑨
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(冷水)	☐	MJ	48.0	1.36	0.1	0.060	0.0
	その他(温水)	☐	MJ	39.0	1.36	0.1	0.060	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	14,884.0	9.97	148.4	0.489	7.3
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				⑫	9.76	⑪	0.489	⑬
合 計						⑭	148.5	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	472.0			0.251	0.1
	公共下水道	☐	m ³	0.0			0.439	0.0
合 計								⑮

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩} = (\text{⑧} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

※2 $\text{⑪} = (\text{都が指定する原単位} \times \text{延床面積} \times \text{事業所等の総稼働時間}) / 1,000$

$\text{⑫} = (\text{⑪} / \text{電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)}) \text{の係数} \times 1,000$ $\text{⑬} = (\text{⑫} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

対象物件見直しにより追加

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	MIRAI LAB PALETTE									
事業所番号	A	1	0	1	6	—				
事業所等の所在地	〒	1	0	0	—	8	6	0	1	区市町村名 東京都千代田区
町名番地以下	大手町二丁目3番2号大手町プレイス イーストタワー									
事業所等の延床面積	0.63		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☐ 1年度分 ☒ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☒ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成30年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	0	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	0	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	0	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	0.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃 料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	1,748.0	9.97	17.4	0.489	0.9
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh ^⑪	0.0	9.76 ^⑪	0.0	0.489 ^⑫	0.0
合 計							^⑬ 17.4		^⑭ 0.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	0.0			0.251	0.0
	公共下水道		☐	m ³	0.0			0.439	0.0
合 計									^⑮ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑧}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

対象物件見直しにより追加